

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	田島 諒子 【ライフサイエンス専攻 平成26年度生】	<p>非アルコール性脂肪性肝疾患（Non-alcoholic fatty liver disease : NAFLD）は肝臓のメタボリック症候群とも呼ばれ、その有病率は近年増加の一途をたどる。学位申請者は日本人男女を対象に大規模な疫学調査を行い、食事とNAFLDの有病率の関連性について検討を行った。その結果、女性では、炭水化物摂取量、もしくはその主要な供給源である米飯摂取量が多い者でNAFLDの有病率が高いこと、一方で男女ともに、パンおよび麺類摂取量や野菜、果物などの摂取量とNAFLDの間には有意な関連性は見られないことなどを明らかとした。本研究の内容はすでに国際誌に発表済みである(<i>Clinical Nutrition</i>. 2016 in press.)</p> <p>本論文は、NAFLDの制御のための食について貴重な情報を提供するものであり、学位論文として十分な内容と水準を備えていると判断した。第一回審査会では論文内容の審議がなされ、口頭試問を行なうことを可と判断した。第二回、第三回審査会では申請者の出席のもと口頭試問がなされ、申請者は質疑に対して適切に回答し、後日加筆修正を行なった訂正論文を提出した。以上の審査の過程をふまえて行なわれた公开发表（1月18日）においても、審査員からの質疑に対して的確な対応がなされ、最終試験も合格と判断した。よって、審査委員会は本論文を本学人間文化創成科学研究科の、博士（生活科学）、Ph.D. in Nutritional Epidemiology の学位を授与するに相当する論文であると判断した。</p>
論文題目	日本人における食事と非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の関連の横断的検討	
審査委員	(主査) 准教授 飯田 薫子	
	教授 赤松 利恵	
	教授 鈴木 恵美子	
	准教授 須藤 紀子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・<input checked="" type="radio"/>否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="radio"/>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	

